



地域の子どもたちの力に なれることを続けていく

生まれは長野県。足立区に親戚がいた縁もあり、結婚後、今の場所です暮らし始めた。その際に町会に入って40年。積極的に地域に関わるきっかけになったのは子どもが入ったサッカーチーム。遠征時に車を出したり、大会を主催する運営スタッフになったこともある。また、子どもたちの地域活動を支援する第十四地区少年団協議会の会長も務めた。

町会の役員になったのは28年前。その2年前に奥様を亡くし、2人の子どもを育てながら、青少年部長、副会長を務めた。仕事は歯科技工士。多忙だった。「仕事もあるし、家のことも大変だった」が、町会の役員を続けてきたのは「頼まれると断れない性格」で「一度始めたことはちゃんと務めたい」ため。町会の役員から声をかけられ、20年前から保護司も務めている。

大切な家族や近隣の皆を いざという時に守りたい

視線はいつも地域に向いている。そうすることが自らにとって自然な感覚なのは、父親が地域活動に熱心で、自分や兄の小中学校のPTA会長を務めていた影響が大きい。兄も親世代になると、子どもの学校のPTA会長になった。自身も同じである。伊興中学校のPTA会長を務めた。その後、町会の役員も引き受け、班長、支部長、総務部副部長、総務部長を歴任。会長に就任して3年目だ。

会長として大切に行っているのは、「流れ」を見極めること。そして、見極めた「流れ」には逆らわない。その姿勢は役員の皆さんに対しても変わらない。盆踊り大会など行事の運営時も、それぞれの役割を全うしてもらうべく信じて、任せることで、「『自分事』として提案し、主体的に動いてくれる」。皆で作った、その「流れ」は良い方向に進んでいく。

会長という立場になって3年目。地域の子どもたちと関わったり、保護司としての経験から感じることは、「子どもたちは、楽しいこと、やりたいことが何か一つでもあれば、強くなれる」ということ。様々な課題や状況の難しさはあるかもしれない。それでも、町会で行う行事や、自分が関わることが少しでも子どもたちの力になればと願う。「直接的ではなくても、間接的にどこかの誰かの力につながることでありますよね。そのきっかけになればと思います」。

仕事に子育て、家族の状況など町会活動を続けていくのは大変なこともあると考える。「特に役員のご家族には感謝の気持ちでいっぱいだよ。支えて、応援してくれるご家族がいてくれるから続けることができるんだよね」。自身もそうだが、家族がいてくれるからこそ、続けられる。そして、続ける原動力は、いつも支えてくれる家族や近隣の皆をいざという時に守りたいという意思だ。「まずは挨拶をすることからだね。普段から知っていれば、いざという時の力になる」。

会長に訊け!

昭和25年生まれ、74歳。心がけているのは「健康第一」。16年前に大病したことがきっかけだ。看護師の義姉に体調を心配され、奥様の強い勧めで検査したところ判明。治療中は食生活にも気を遣い、奥様と一緒に病を克服した。今も食卓に並ぶのは奥様の手料理。「いつも応援してくれる奥さんはいちばんの理解者」。

伊興西町会長

永田 正三 Nagata Masazou

伊興北町会長

原 富雄 Hara Tomio

昭和26年生まれ、73歳。週2回、町会の仲間と取り組むビーチボールバレーが好き。「特に練習後の飲み会が好き(笑)」で、自宅が会場になる機会も多い。料理は持ち寄り。ちなみに、会長の得意料理はカレー。子どもたちのために何度も作ってきた。複数のルーをブレンドする濃厚さが原家カレーのこだわりだ。

町会・自治会に加入する 3 ステップ

※ 自分のエリアの町会・自治会員をご存知の方は直接お申込みください。
(都営・区営住宅は入居時にご案内します)

1

加入方法がわからない方は

下記の方法でお申込み

● ネットで 足立区公式サイトへ



上記QRコードを
読みとってください

ページ内の
足立区オンライン
申請システム
に入力

● 郵送・ファクスで 住所、氏名、電話番号を明記し送付

郵 送

〒120-8510 足立区中央本町1-17-1
地域調整課地域調整係宛て

ファクス

03-3880-5603

問 合 せ

足立区地域調整課 TEL 03-3880-5864

2

該当の町会・自治会から
連絡が来ます

3

加入!



ようこそ!
地域の団結で
安心を!

